

服部病院だより

ー地域医療連携室便りー

春号

2025年（令和7年）4月

基本理念 私たちは、利用していただける方々に最善の医療を尽くすことに努めます。

- 基本方針**
1. 地域住民の方との繋がりを大切にします。
 2. 患者さんの人格を尊重しつつ、チームで安心・安全な医療の提供に努めます。
 3. 予防・医療・介護との継続、かつ、透析医療においてリードする病院をめざします。
 4. 医療の専門職として、継続学習と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
 5. 職員が自主・自律の精神のもと、働きがいのある職場環境をつくります。

地域医療連携室

0794-83-5327（直通）

透析センターについて

服部病院の透析センターでは第1及び第2透析室合わせて56床で約150人の透析患者の診療に当たっています。透析には幾つかの方法があり、標準的な血液透析の他に、患者さんの病態に合わせオンライン血液透析濾過、間欠的血液透析濾過なども施行しています。また、下肢動脈閉塞症が悪化し足潰瘍がある症例にはレオカーナ®と呼ばれる濾過器を用いた血液吸着療法も実施しています。

全国の透析患者数は1980年代から毎年増加していましたが、2021年の347,671人をピークに以後減少し2023年には343,508人となりました。高齢化する透析患者の死亡率上昇が一因です。また、慢性腎臓病(CKD)の管理が向上し新規透析患者数が減少していることも要因です。特に糖尿病性腎臓病の新規透析患者数が減少しています。これは腎機能低下速度を抑制できるSGLT2阻害薬、GLP1作動薬などの新規薬剤のお陰と言われています。

週3回、1回4時間の透析治療はつらいものです。高齢化のため半数以上の方が自立歩行できず、当院の送迎サービスを利用しています。透析歴が長くなると低栄養、サルコペニア、そしてフレイルが増加します。対策として、理学療法士、管理栄養士の先生方と合同カンファレンスを開催しながら上記合併症の進行抑制を図っています。また全身合併症が多く、リハビリ科、整形外科、外科、脳外科、皮膚科など多くの先生方にお世話になっています。

とはいえ、前向きに生きようとしている患者さんも沢山いらっしゃいます。患者さんとの懇親旅行も年に一度開催し親睦を深めています。全国的には、慢性腎臓病、透析・移植患者さんを支援する腎援隊と言われるWEBサイト(<https://jinentai.com/>)あります。私もこのサイトの企画・運営に関与しています。毎年3月の世界腎臓デーに合わせ透析患者さんの患者会である兵庫県腎友会の方達と慢性腎臓病市民公開講座を開催しています。同じく3月に県内各市で慢性腎臓病啓発キャンペーンも展開しています。ここにも当院の透析スタッフの方が応援に来てくれます。透析室では病院内外でCKDに立ち向かっています。



<紹介文>

西先生が監修されている「家族と考える慢性腎臓病サイト」を紹介します。

慢性腎臓病について、はじめてから透析に至るまで、様々なコンテンツでとても分かりやすく構成されています。是非、ご覧になってみて下さい！

進歩し続ける慢性腎臓病治療

神戸大学大学院 腎臓内科 名誉教授
医療法人社団 一陽会 服部病院
腎臓内科部長 兼 透析センター長

西 慎一 先生

家族と考える慢性腎臓病サイト

「腎援隊 - 慢性腎臓病患者さんを応援します - 」



サイトアクセス
QRコード

令和7年度 新入社員合同入社式

新しい仲間たちです。

病院長より

「当院では、すべての職員がお互いに信頼、尊敬しあい、患者さんのために協働できる職場環境を目指しています。一日も早くチームの一員となって頑張ってくださいことを願っています。」と激励の言葉がありました。



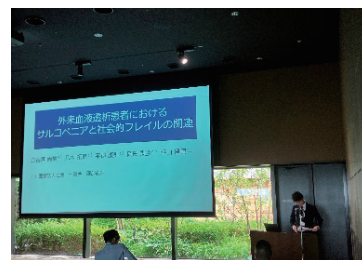
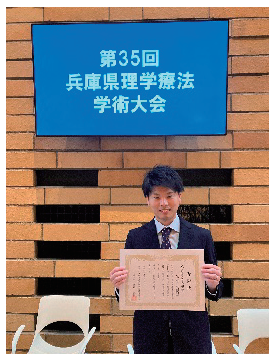
▶リハビリテーション室 学会発表

第35回兵庫県理学療法学術大会で、谷宮 尚樹が、『外来血液透析患者におけるサルコペニアと社会的フレイルの関連』について発表し優秀賞を受賞しました。

社会的フレイルは孤立や社会参加の減少による健康リスクの増加を指し、サルコペニアは筋肉量の減少を伴い日常生活に負の影響があることがわかっています。本研究はこの両者が相互に関連していることを明らかにしました。透析患者において、これらの評価・介入の重要性を示唆し、臨床において非常に意義のある研究であると思います。

堂々とした発表で、質疑に対して的確に返答し、大変すばらしい成果を上げてくれました。おめでとう!!

リハビリテーション室回復期担当室長 八木 琢磨



▶透析室 学会発表

フットケアを通して地域活動を行っている私たちは、能登半島地震の発災1週間後より支援物資を集め被災地入りしました。その後、関西全域から集まった医療ボランティアと共に被災地で毎月1～2回のフットケアを通じた災害支援活動を行ってきました。多くの被災者は長引く避難生活の中で様々な健康障害を抱えており、行き届かない医療を支える支援として大きな役割を担いました。この活動を昨年の第27回日本腎不全看護学会学術集会で発表した際には、名だたる大学院の先生方が発表される中で、大会長賞を受賞いたしました。災害対策は様々な医学会で喫緊の課題となっている昨今、日頃より活動している内容が活かしたものとして受賞した意義は大変大きいものと感じています。



受賞いたしました。災害対策は様々な医学会で喫緊の課題となっている昨今、日頃より活動している内容が活かしたものとして受賞した意義は大変大きいものと感じています。

透析室 看護師 野澤 裕子



回復期リハビリ病棟について

地域の皆様こんにちは。今回もまた回復期リハビリ病棟についてというお話を頂きお話ししたいと思います。毎回同様の病棟説明をしてもつまらないかと思い、今回は日々所感を綴ります。

整形外科疾患や廃用症候群の患者様で、理学・作業療法的アプローチで筋力・耐久性を回復でき、機能的にも元の状態に近づける患者様は幸いである。昨今、とみに増えてきた認知症が絡む疾患。脳疾患による高度の麻痺に加え高次脳機能障害が伴うとその患者様やご家族にとって本当の幸いは叶うものだろうかという想いが常に付きまとうこととなる。ご家族・ご本人へのIC（インフォームド・コンセント）や多職種カンファレンスでもこの点に思いを馳せることとなる。患者ご本人に留まらずご家族すべての問題となって浮上するからだ。

『雨二モマケズ 風二モマケズ・・・』の詩で有名な宮沢賢治の児童小説『銀河鉄道の夜』にはこんな一節がある。主人公ジョバンニが親友カンパネルラに語り掛ける：

『カンパネルラ、

また僕たち二人きりになったねえ、

どこまでもどこまでも一緒に行こう。

僕はもうあのさそりのように

ほんとうにみんなの幸いのためならば

僕のからだなんか百ぺん灼いてもかまわない』



かの先人は、本当の幸いとは何かを突き詰めて生きた人。花巻農学校教諭を辞し突然近隣の農家で百姓をしながら、農業には過酷な東北の環境で苦しむ農家の人々と向き合い、ほんとうの幸いとは何かを日々の悪戦苦闘の実践の中で人々に寄り添い摺もうとしたという。この詩には彼のその菩薩・仏のような慈愛がほとばしっているように思えてならない。

看護師・セラピスト・医師・介護福祉士・薬剤師・管理栄養士・介護士など関係するすべての職種が、皆の一念一念が込められ重ねられたカンファレンスで共有した情報を基に、日々治療に、訓練に、生活の中でご本人と対峙し、期限内でご家族とともにどこか着地点を見出している。その活動は現代の賢治の集まりにも思えるのである。

命のカンファレンス。皆の想いよ届け!!

回復期リハビリ病棟 リハビリ科部長 田井 裕之



服部病院 外来診療担当医表

診療科	診察受付時間		月	火	水	木	金	土
内科	9:00～12:00	一診	栗野孝次郎	那須正道	西 慎一	栗野孝次郎	山下幸政	武田侑己
		二診	小坂理恵子	藤田佳奈	福満隼人	那須正道	小坂理恵子	上田智朗(第1) 菅真紀子(第3-5)
		三診		武田涼輔 (脳神経内科)			的場 俊(第2-4) 城間京香(第1・3・5) (脳神経内科)	
	13:00～17:00(予約)			那須正道 (糖尿病専門外来)	関田憲一 (腎臓内科)			
	18:00～20:00		小坂理恵子		那須正道		栗野孝次郎	
外科	9:00～12:00		服部哲也	服部哲也	三方彰喜	服部哲也	三方彰喜	金澤成雄
	13:00～17:00					金澤成雄 (下肢静脈瘤専門外来)		
	18:00～20:00		(神戸大学)	服部哲也	高井 亮	服部哲也	三方彰喜	
整形外科	9:00～12:00	新患・リハビリ	楠 厳	楠 厳(第1) 斯波卓哉(第2・3・4・5)	松宮 豊	斯波卓哉	楠 厳	松宮 豊 (新患・予約)
		予約	角田雅也 (新患・予約)	楠 厳	松宮 豊 斯波卓哉(～10:00)	楠 厳	斯波卓哉	斯波卓哉 (予約・リハビリ)
	18:00～20:00			楠 厳		斯波卓哉	篠原一生	
脳神経外科	9:00～12:00		救急対応	林 宏	林 宏		庄瀬裕康	
	13:00～16:00		救急対応	救急対応	救急対応		救急対応	
泌尿器科	9:00～12:00		樋口彰宏					
	14:00～17:00			田代裕己 (第1・3・5) 松下 経(第2・4)	佐藤克哉			
婦人科	9:30～12:00		服部奈緒	服部奈緒		服部奈緒	服部奈緒	服部奈緒
	14:00～(予約)		服部奈緒			服部奈緒	服部奈緒	

★担当医は変更になることがありますのでご了承ください。

★変更になる場合は、各科診療室前に掲示してありますのでご注意ください。

(令和7年4月現在)

おいしいお店紹介

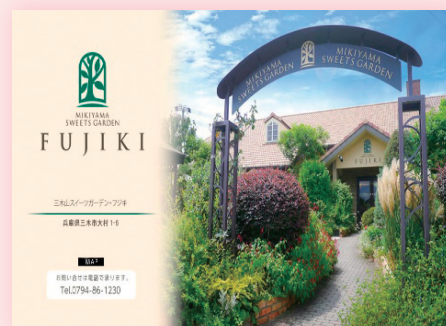
FUJIKI

三木山スイーツガーデン・フジキ

TEL : 0794-86-1230

住 所 : 三木市大村1丁目6番地

営業期間 : 10:00～18:00



関連施設

三郎記念クリニック

■ 診療科目 : 人工透析・腎臓内科

透析医療専門のクリニックです。経験豊富なスタッフが
きめ細やかなサービスを提供します。〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1350-1
駐車場完備

TEL. 079-423-2055 FAX. 079-423-1256

服部病院診療科目

内科・腎臓内科・消化器内科・糖尿病内科・循環器内科・脳神経内科・脳神経外科・
外科・心臓血管外科・整形外科・婦人科・泌尿器科・リハビリテーション科・
放射線科・人工透析(夜間透析あり)・人工透析外科、24時間救急受入体制

医療法人社団 一陽会

服部病院

〒673-0413 兵庫県三木市大塚218-3

TEL. 0794-82-2550 FAX. 0794-82-4399

https://www.hattori-hospital.com

当誌は、
ホームページでも
ご覧になれます。

服部病院

検索